

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第35週[8月29日～9月4日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/

E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

日本紅斑熱について

日本紅斑熱とは、野山や畑などに生息している病原体を保有したダニ（マダニ）に刺されることで感染する病気である。2～8日の潜伏期間を経て発症し、発熱、発疹、ダニの刺し口が主要な徴候である。発生時期は4月から11月が中心で、ヒトからヒトへの感染はない。早期診断、早期治療が重要で、遅れた場合は命に関わることもある。

例年は室戸市を中心とした県東部からの届出が9割以上を占めていたが、今年に入って仁淀川下流域から患者発生の届出があり、流行地域が広がっていると考えられるため注意が必要である。

予防としては、野山や河川及び田畑へは出来るだけ肌を露出しない服装（長袖、長ズボン、手袋など）で、防虫スプレーを噴霧する。帰宅後は直ぐに入浴し、服を着替える。野山などから帰った犬・猫はダニが付着している可能性があるため注意を要する。また、野山に行った後に、発熱及び発疹が出た場合は、直ぐに医療機関を受診する。

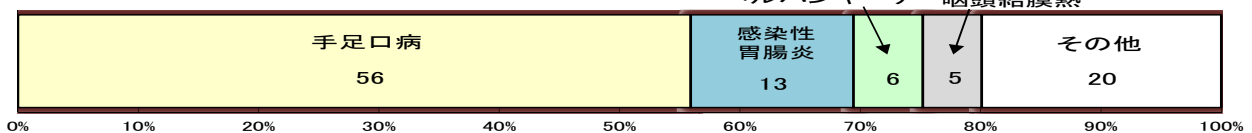
県内情報

○ 患者情報総評

警報発令疾患：手足口病

- 週の前半は晴れの日が続いたが、週末には台風の影響で雨が激しく降った。
- 手足口病（高知市：警報→警報，中央西：警報→警報，中央東：注意報→警報，幡多：警報→注意報，高幡：警報→注意報，安芸：注意報→注意報）は減少を続けていたが、中央医療圏で増加し、総数は増加に転じた。
- 感染性胃腸炎は安芸と中央東を除く地域で増加し、総数は約1.6倍に増加したが、例年並みの報告数である。
- ヘルパンギーナは中央医療圏で増加したが、その他の地域で減少し、総数は横ばいであった。
- 咽頭結膜熱（高幡：注意報→警報，中央東：注意報）は安芸と中央西を除く地域で増加し、総数も増加した。

上位疾患構成図



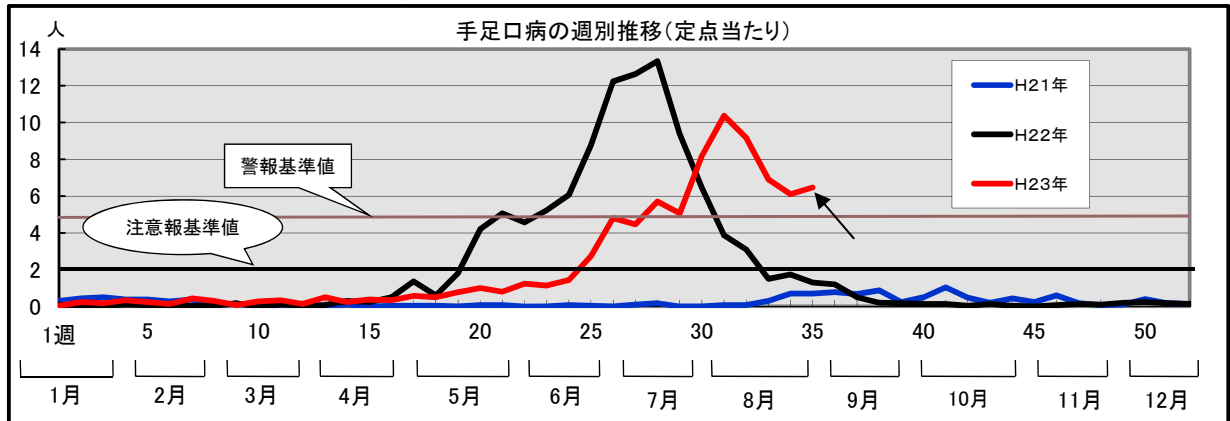
地域別感染症注意報・警報発生状況

第35報 (2011年8月29日～2011年9月4日)



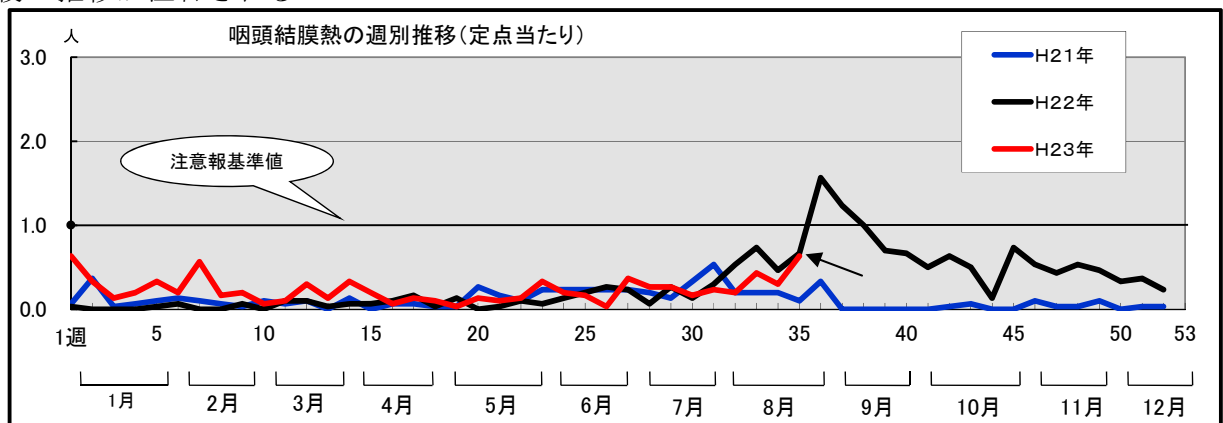
手足口病：今週 6.47 （注意報値：2.00 警報値：5.00）

中央医療圏のうち、特に中央東では前週の2倍以上に増加し、再び警報値を超した。その他の地域でも高知市、中央西では警報値を、幡多、高幡、安芸では注意報値を超している。1～2歳で報告数が多く、半数以上を占めている。予防としては患者に近づかない、手洗いの励行などである。患者あるいは回復者に対しても、特に排便後の手洗いを徹底させることが重要である。



咽頭結膜熱：今週 0.63 （注意報値：1.00 警報値：3.00）

他の夏季疾患と比較して低いレベルで推移していたが、今週は前週より2倍以上増加した。高幡では警報値を、中央西では注意報値を超した。昨年のピークは第36週（9月6日～12日）であり、今後の推移が注目される。



百日咳：今週 0.10 （注意報値：0.60 警報値：1.00）

今年に入り、第2週（2例）を除いては0～1例で推移していたが、今週は高知市、中央西、高幡から各1例、計3例報告された。

検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
35	マイコプラズマ肺炎	7歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
33	手足口病	1歳 女	高知市	Echovirus 6

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 1例（70代男）《中央東》（今年125例）

○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 1例（4歳女） マイコプラズマ感染症 2例（3歳女、15歳男）
アデノウイルス感染症1例（5歳男）

高幡：

《もりはた小児科》：アデノウイルス扁桃炎 3例（1歳、3歳:2例）
カンピロバクター腸炎 2例（1歳女:34週、5歳女）

中央西：

《石黒小児科》：帯状疱疹 1例（4歳男）

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（9歳女）はいの町、1例（5歳男）は須崎市
手足口病の1例（7歳男）はいの町 帯状疱疹 1例（4歳女）

《日高クリニック》：マイコプラズマ感染症 3例（3,10歳女, 5歳男）

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 3例（7,8歳男, 9歳女）

アデノウイルス陽性2例（3,4歳女） カンピロバクター腸炎 1例（3歳男）

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：マイコプラズマ肺炎 1例（6歳男）

《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（9歳男）

アデノウイルス咽頭炎 3例（5ヵ月女, 4歳男:2例）

《野市中央病院内科》：インフルエンザの1例（32歳男）はA型陽性

安芸：

《田野病院小児科》：マイコプラズマ肺炎1例（7歳女）

全国情報第33週（8/8～8/14）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核327例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症138例（有症者90例、うちHUS 2例）

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱1例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症11例、
レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢1例、ウイルス性肝炎4例（B型3例、C型1例）、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ
球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群17例（AIDS 4例、無症候12例、その他1例）、ジアルジア
症1例、梅毒11例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん12例、麻しん2例

報告遅れ：急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群1例、梅毒1例、破傷
風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス2011年

エンテロウイルス71型（EV71）は熊本県から第10週、第15週、第23週に各1件が報告されている。

A群コクサッキーウイルス（CA）16型は第3～32週に山形県23件、岩手県22件、福岡県16件、佐賀県15件、
大阪府11件、大分県10件、香川県7件、兵庫県6件、神奈川県4件など126件の検出が報告されている。

その他のCAではCA6が第2～33週に大阪府72件、高知県53件、和歌山県52件、兵庫県39件、島根県36件、神奈
川県23件、富山県18件、岡山県13件、徳島県、大分県各11件、広島県10件、栃木県、福岡県、佐賀県各8件、
千葉県、愛知県、奈良県、山口県各7件、静岡県、三重県、愛媛県各5件など426件、CA10が第26～31週に栃
木県4件、岩手県、秋田県各3件、福岡県2件、群馬県、千葉県、神奈川県、長野県各1件、計16件報告されて
いる。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2011年

2011年第1～33週までの検出総数は720件で、第29週以降に発生した集団発生例からは、第29週に福岡県（飲
食店）でO157（VT1&VT2）が2件、第29～30週に長野県（ホテル）でO103（VT1）が26件、O145（VT1）が12件、
O121（VT2）が4件、第29～30週に岐阜県（保育所）でO26（VT1）が17件、第30～31週に岩手県（保育所）で
O26（VT1&VT2）が10件、第32～33週に富山県（研修宿泊施設）でO26（VT1）が21件検出されている。

2011年1～8月にO157が30都道府県から327件、O26が26道府県から223件、その他の血清型が21道府県から
172件報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(34週)	高知県(35週未累計) H23/1/3~H23/9/4
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ		1					1 (0.02)		43 (0.01)	12,336 (257.00)
小児科	咽頭結膜熱		7	3		7	2	19 (0.63)	9 (0.30)	1,107 (0.36)	246 (8.20)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	8	3	1	3	17 (0.57)	13 (0.43)	1,874 (0.60)	1,750 (58.33)
	感染性胃腸炎	3	6	26	9	1	2	47 (1.57)	29 (0.97)	8,026 (2.58)	6,358 (211.93)
	水痘	2	2	4	2		1	11 (0.37)	18 (0.60)	1,629 (0.52)	1,394 (46.47)
	手足口病	4	45	97	23	7	18	194 (6.47)	183 (6.10)	12,383 (3.98)	2,444 (81.47)
	伝染性紅斑	1	1	4		1		7 (0.23)	8 (0.27)	1,233 (0.40)	309 (10.30)
	突発性発疹		4	5	1	2	1	13 (0.43)	12 (0.40)	2,268 (0.73)	502 (16.73)
	百日咳			1	1	1		3 (0.10)	1 (0.03)	94 (0.03)	17 (0.57)
	ヘルパンギーナ		4	11	2	1	2	20 (0.67)	19 (0.63)	6,755 (2.17)	813 (27.10)
	流行性耳下腺炎			7	3	1	2	13 (0.43)	4 (0.13)	2,236 (0.72)	260 (8.67)
	RSウイルス感染症								1 (0.03)	898 (0.29)	559 (18.63)
眼科	急性出血性結膜炎									156 (0.23)	(0.00)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)		495 (0.73)	34 (11.33)
基幹	細菌性髄膜炎									17 (0.04)	2 (0.29)
	無菌性髄膜炎									35 (0.08)	16 (2.29)
	マイコプラズマ肺炎						1	1 (0.14)	5 (0.71)	301 (0.65)	78 (11.14)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									13 (0.03)	8 (1.14)
計 (小児科定点当たり人数)	11 (5.50)	71 (10.09)	167 (15.09)	44 (14.67)	22 (11.00)	32 (6.20)		347 (11.49)			
前週 (小児科定点当たり人数)	15 (7.50)	41 (5.86)	148 (13.27)	39 (13.00)	23 (11.50)	36 (6.60)			302 (9.90)	39,563	27,126 (745.40)

定点当たり

第35週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(34週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ		0.09					0.02		0.01
小児科	咽頭結膜熱		1.00	0.27		3.50	0.40	0.63	0.30	0.36
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	0.73	1.00	0.50	0.60	0.57	0.43	0.60
	感染性胃腸炎	1.50	0.86	2.36	3.00	0.50	0.40	1.57	0.97	2.58
	水痘	1.00	0.29	0.36	0.67		0.20	0.37	0.60	0.52
	手足口病	2.00	6.43	8.82	7.67	3.50	3.60	6.47	6.10	3.98
	伝染性紅斑	0.50	0.14	0.36		0.50		0.23	0.27	0.40
	突発性発疹		0.57	0.45	0.33	1.00	0.20	0.43	0.40	0.73
	百日咳			0.09	0.33	0.50		0.10	0.03	0.03
	ヘルパンギーナ		0.57	1.00	0.67	0.50	0.40	0.67	0.63	2.17
	流行性耳下腺炎			0.64	1.00	0.50	0.40	0.43	0.13	0.72
	RSウイルス感染症								0.03	0.29
眼科	急性出血性結膜炎									0.23
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.73
基幹	細菌性髄膜炎									0.04
	無菌性髄膜炎									0.08
	マイコプラズマ肺炎						1.00	0.14	0.71	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03
計 (小児科定点当たり人数)	5.50	10.09	15.09	14.67	11.00	6.20		11.49		
前週 (小児科定点当たり人数)	7.50	5.86	13.27	13.00	11.50	6.60			9.90	

2011年週報推移(定点当たり)

